

令和5年度 第2回 富岡小学校学校運営協議会議事録

14:40～15:40（図書室）

1 開会の挨拶【会長】

- ・10月21日、創立150周年記念式典が間近に迫ってきた。大変だと思うが盛会となるように準備・運営等に尽力してほしい。
- ・本日は、これまでの教育活動の成果と課題、今後の取組について、方向付けるための話し合いとなるよう、委員の皆さんから忌憚のない意見を出してほしい。

2 1学期の取組と子供たちの様子について【校長】

- ・2学期はじめは、学校に来ることができなくなる子供が増加する傾向があるが、今年は、今のところ、そういう状況が見られない。新型コロナウイルス感染症にかかっている子供は、1人、2人いて、2学期、全校がそろったことはない。
- ・心配された猛暑も落ち着きつつあるが、各学年、熱中症対策を講じながら体育を行ったり、子供たち自身もコントロールしながら休み時間を過ごしたりしている。
- ・1年生が、ヤギ2頭を飼い始めた。人懐こいヤギなので、他学年も関わりながら大切に育ててほしいと思っている。

＊1学期の取組と子供たちの様子を、資料をもとに説明

3 1学期の学校評価と今後の取組について【教頭】

＊1学期の学校評価と今後の取組を、資料をもとに説明

4 授業での子供たちの様子や今後のCSとしての取組について

- ・学校の教育活動等について
- ・地域や家庭での取組、連携を強化するためにできること
- ・地域学校協働活動（青少年育成会議）やPTAとして取り組めること

<2～4から委員の話し合い>

○学力について、思考・判断・表現力の弱さは、どこに原因があると感じられるか？

→授業時、教師の指示が多い。それにより指示待ち人間になっている傾向がある。

○保育においても、集団で動くことが多く、園児に考えさせて判断させたり、主体的に動かすよう促したりするには、保育士の心にゆとりがないとできないと感じている。しかし、今、上越市の園での指導の仕方について、見直そうという動きがある。子供たちとの関わりを大切にしたい園児指導にしていきたいと考えている。

○保護者の声

人の意見を聞くことはできるが、人の顔色を見てしまい、人前で話すことに抵抗がある。そのことが、自分の考えを率先して伝えることができないことにつながっている。

○グループワークや少人数での話し合いなら、抵抗がないと言っている。また、どのような考えに近いかを、選択肢を挙げるなどの工夫も必要だと思い、家庭で取り組んでいる。

○今回の学校保健委員会は、専門家から子供たちの生活に直結する話を聞くことができ、子供たちにとって有効だった。PTAとかで意図的・計画的に行っていくとよい。今回の参加者は、十数人だったが、本当は、20～30人ほど参加してほしい。

○開催日は、学習参観日と同じ方が、休みを取りやすい。しかし、テーマによっては、正直、関心がないものもある。興味のあるテーマを保護者同士で、ディスカッションしたり、子供たち同士が話し合ったりすることもよい。

(例) 親であれば、家庭でイライラしない方法

子供が主体的、自主的に家庭学習に取り組む方法 など

○子供たちは、男女比の違いはあるが、ずっと一緒に過ごしているよさがある。子供は、家に帰って来て学校の出来事を話したり、話さない場合は、親から問いかけるように工夫したりしている。

○コロナ前は、親同士のコミュニケーションもあったように感じるが、今は少なくなっていると思う。以前は、市P連や保護者会等を開催していて、親同士が子供の話をすることができていた。

○地域が富岡小の子供たちを育てていくために、地域でできることを考えたり、地域で集まれる場所があったりすることが大切かもしれない。富岡だからできる良さ、異学年で関われる強みを生かす。とこかで、メディアリテラシーの力を高めていくことは、今後、ますます重要になる。

○親同士のコミュニケーションの場を設定することが、家庭や地域と連携して、子供たちを育てることにつながっていくではないかと思う。

→学級懇談会の後半で、身近なテーマを決めて、話し合う機会を設けることは、すぐにできると思います。

5 その他

・今後の体育大会の方向について

○今年度並みがよい。以前のスタイルは、非常に負担だし、近年の暑さから熱中症対策のためにも、午前開催がよい。

○今年度のような、子供たちの種目に、保護者や地域が入るスタイルがよい。また、コンパクトで見やすいし、参加しやすい。

○大会前に、集まるのは、保護者にとっても負担である。

6 閉会の挨拶【副会長】

・第2回学校運営協議会、貴重なご意見、ありがとうございました。今後とも、学校・地域一丸となって進めていきましょう。